

目標達成計画

作成日: 令和1年 8月 8日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	看取りケア手順書・マニュアルの文書化等が十分に行えていない	看取りケア手順書・マニュアルの文書化等の準備整備し充実を図る。ご家族・職員共に手順書やマニュアルを基本にケアを進めていき、対象者の方の特別な支援や想いの実現に向けてはケア内容を新たに加えて、悔いのない”看取りケア”が行える	現在ある物も再度内容を確認し、必要な内容の追加・修正を行う。また各資料の充実だけでなく職員の”看取り”への知識・理解を深める為に研修・勉強会の参加も積極的に行う。帰設後も研修の学びを他職員へ伝達し”同じ想いを持ち、統一されたケア”が提供できる。	2ヶ月
2	40 41	入居者の食事への嗜好・栄養状態・摂取量・咀嚼嚥下状態等を把握し、本人に適切な食事提供と”食べる楽しさ”を感じてもらえているのだろうか	入居者が食事を”美味しく・楽しく”行える。また同時にその方に合った食事形態の提供、必要な栄養を摂取できている	日々、入居者の摂取状況を細かく観察把握し、提供内容・食事形態が適切であるのか振り返る。施設栄養士の介入も積極的に働きかけ、会議・カンファレンスに出席依頼し、専門職の視点より助言アドバイスを得る。記録に細かい変化を残していく	1ヶ月
3	48	施設内や地域で開催される行事への参加は行っているが、入居者個人が思っている”生活への願い(やりたいこと)を、職員が見つめ発見・実現を行えているのだろうか。また日頃から日光に当たり気分転換なども充実し過ごしてもらいたい	自身で”想い”を発信できない方へのアプローチと”願いの発見・実現”に力を注ぐ。食事・入浴・排泄・褥瘡ができず快適に過ごし続けることができる	自身での発信ができない方へはご家族様より過去の生活歴等を聞き取り情報収集。介護計画に地域交流・日光浴・個人余暇充実などを具体的に盛り込み作成し、その記録を職員・家族等と共有し統一した支援を行える	3ヶ月
4	52	”中庭バルコニー”スペースの庭に植物を植え入居者の方が目で見て緑を感じれ居心地の良い空間になるように工夫する	過去にも植物があったが日陰で上手に育たないことがあった。日陰でも育つ植物を良く選定し植えるようにする	日陰でも育つ植物の情報収集。生活用品も多く置いているため、物品整理とシェード等を上手に使用しての目隠し	3ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。